

全会一致
可決

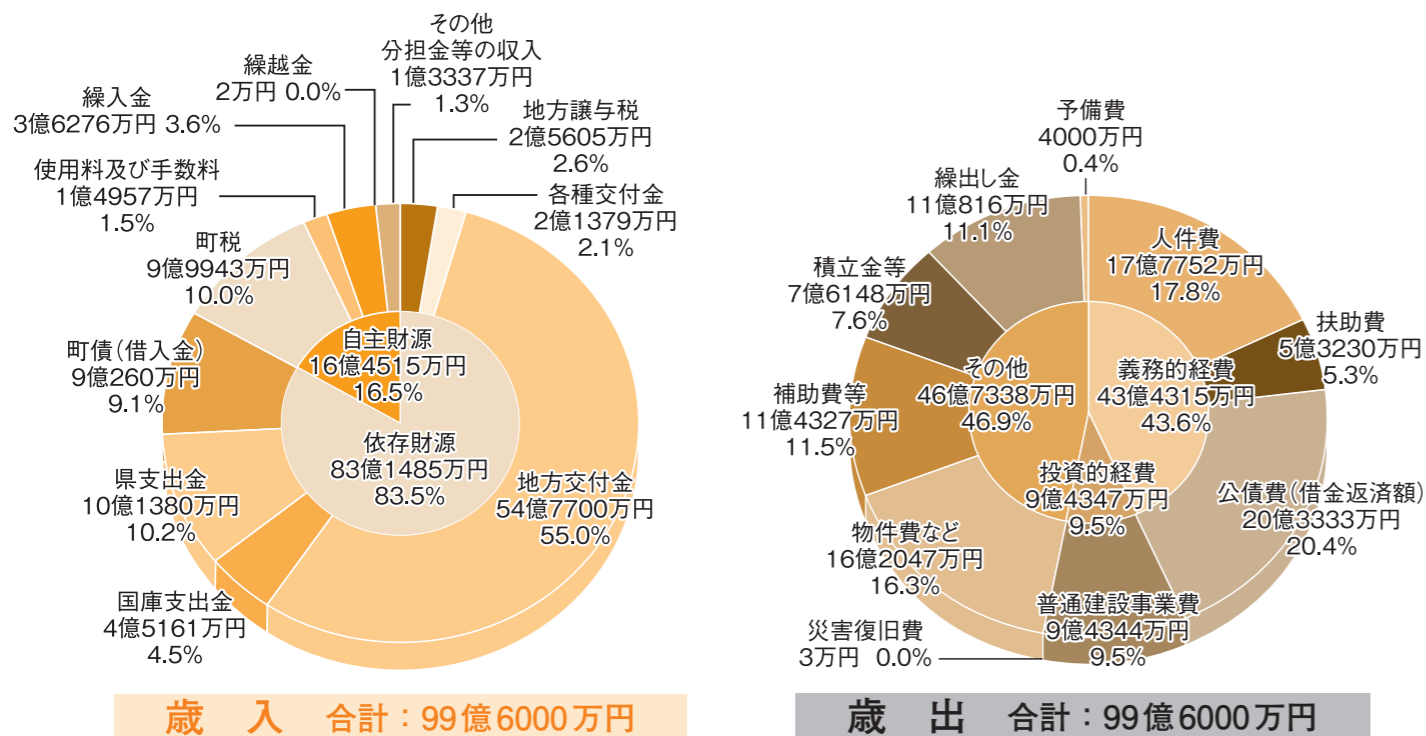
99億6000万円

前年対比5.2%の減額



平成23年度事業 ハードからソフトへ

平成23年度 一般会計 予算比較表



町長が提示した平成23年度「予算大綱」によると、新たな地域おこし協力隊制度への取組み、内容を充実した源流の里事業、子宮頸がん予防など各種ワクチン無料接種の実施、農林産物販売施設の充実、観光大使の活用や町内商工業の活性化、かがやきネットの運営、道路維持対策など「創造」を柱とした「ソフト事業」に重点をおいた予算編成となっています。

光とやすらぎを求めた予算

平成23年度予算大綱

3月定例会は、3月3日から、17日まで開かれ、平成23年度当初予算、22年度各会計補正予算、神石高原町地域情報通信基盤整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例など100議案を審議しました。町長・副町長及び教育長の給与条例等の一部改正案を否決し、98議案を原案のとおり可決しました。総括質問では、13名の議員が、予算大綱などについていただきました。

当面は3点の課題克服を
また、今後の町政運営の課題克服に向け、
①支所のあり方
②保育所の指定管理を含めた運営方針
③当面の学校設置について、小学校5校・中学校2校体制について方向づけをしたいと方針が示されました。

平成23年度特別会計・病院事業会計予算

会計名	単位：万円 (四捨五入)	
	H23年度当初予算額	前年度比較増減額
国民健康保険	11億7380	980
後期高齢者医療	3億7450	△4950
老人保健	廃止	△700
介護保険	18億3110	350
簡易水道事業	4億8100	1億1810
飲料水供給施設事業	3770	640
農業集落排水事業	2億4340	△600
分収育林事業	250	240
総合開発事業	1億2000	9660
特別会計計	42億6400	1億7430
病院事業会計	1億7800	190
合計	44億4200	1億7620

平成23年度一般会計予算「賛成討論」

総務文教常任委員会 委員長 木野山孝志

財政の健全化については、過年度の繰上償還と借入金抑制の効果による公債費の状況から公債費負担の適正化が図られており、財源の確保についても、平成23年度末の基金残高が3億4200万円増の48億円強の見込みとなったことは多いに評価される。予算執行にあたっては、なお一層事業実施計画を充実させ、事業効果の早期実現へ向けて英知を結集されることを先ず望む。

予算審議を通じ、議員からの指摘・提案などを十分参酌のうえ、解決に向け、具体的、積極的な対応を望むとともに、予算の執行に当たっては、特に以下の点について十分対応されるよう強く要望する。

- ①新規事業の提案においては、事業目的、事業効果を明確に示し、住民の理解を得るよう努力すること
- ②事業内容を十分に精査され、無駄のない見積もりを収集するなど万全の対応をすること
- ③かがやきネット管理運営において、旧施設撤去は創意工夫をもって費用を最小限に留めること
- ④教育行政の独立性をもち「学校教育の充実」のため、学校再配置及び中高一貫教育について、可及的速やかに方針決定すること

以上、議案第90号、平成23年度神石高原町一般会計予算案に対する賛成討論とする。

交通・情報通信基盤の整った一体感あふれるまちづくり

8億3251万円

- 道路・交通整備 5億4778万円
- 情報通信 2億8473万円

地域資源を生かした活力ある産業と交流のまちづくり

6億7587万円

- 中山間直接支払 1億3026万円
- 林業再構築 1億323万円

自然と歴史を生かした教育・文化のまちづくり

3億1093万円

- スクールバス 6900万円
- 小中高教育支援 3250万円

保健医療福祉の充実した安心して暮らせるまちづくり

45億7328万円

- 源流の里 2898万円
- 雇用対策 6571万円
- 給水・汚水処理 14億3486万円
- 消防・防災 5億2455万円

高原の特徴を生かした快適で魅力に満ちたまちづくり

16億7127万円

- 医療の充実 18億846万円
- 子ども手当 1億3978万円
- 介護保険 18億3110万円
- 総合開発事業 1億2000万円